

再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()				
1 事業概要	事業名	常盤公園 都市公園事業				
	事業場所	宇部市大字沖宇部、大字上宇部、開三丁目、開四丁目、開五丁目、野中三丁目、則貞三丁目及び亀浦一丁目				
	事業主体	宇部市				
	事業期間	《 前回評価 平成 29 年 時 》 昭和 31 年度 ~ 令和 8 年度 《 平成 33 年度 》 (西暦 1956 年度 ~ 西暦 2026 年度 《 西暦 2021 年度 》)				
	総事業費 (内用地補償費)	《 16,100 百万円 》 16,500 百万円 (6,016 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	15,464 百万円 (5,615 百万円)	進捗率 (用地補償費)	94 % (93 %)
	事業目的	<p>常盤公園は、昭和31年度より事業に着手し、令和3年度までにスポーツ広場、緑と花と彫刻の博物館等、159.1haを供用開始しており、緑豊かで広大な敷地を誇る総合公園として、ウォーキングなどの健康づくりや四季折々の花木の自然観察ができる市民の憩いの場として、親しまれており、動物園や遊園地、植物館などを有する広大なフィールドでは、世界でも歴史のある野外彫刻コンクールをはじめ、一年を通じて様々なイベントも開催されるなど、本市の貴重な観光資源として、県内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>「市民の憩いの場」「貴重な観光資源」の2つの顔に加え、「産業の創出の場」として、市民、企業など多様な主体との「共創」による公園づくりを通して、常盤公園が市民に愛され、誇りを持てる都市公園になることを目指し公園整備を進める。</p>				
事業内容	<p>面積：189.4ha スポーツ広場、園路、野鳥観測所、橋、動物園、花壇、緑と花と彫刻の博物館、多目的広場、駐車場、ピオトープ池^{*1}、森の中の彫刻展示場等 【残事業内容】 ピオトープ池、森の中の彫刻展示場、園路、多目的広場、多目的施設等</p>					
事業効果	<p>「ときわ公園活性化基本計画」^{*2}にもとづき、ハード、ソフト両面から集客対策に取り組み、平成24年度の年間約4.2万人から平成28年度で年間約7.0万人に利用者が増加し、令和元年度には年間入園者数を7.8万人に達成している。緑豊かで広大な敷地を誇る常盤公園は、ウォーキングなどの健康づくりや四季折々の花木の自然観察ができる市民の憩いの場となり、多くの市民に親しまれ、世界でも歴史のある野外彫刻コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」をはじめ、一年を通じて様々なイベントも開催されるなど、本市の貴重な観光資源として、県内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>現在、計画面積189.4haのうち159.1haを共用している。</p>					
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>常盤公園は、宇部市中心市街地より東約3.5kmに位置し、北は黒岩山の自然林があり、東は県営住宅などの住宅地、南には国道190号が接し、西は山口大学工学部、宇部工業高等専門学校や閑静な住宅街を形成している。周辺には、山口宇部空港や山口宇部道路（旧山口宇部有料道路）、山陽自動車道宇部下関線、JR宇部線常盤駅等があり、広域的な利用においても利便性が高い。</p>			中項目評価	大項目評価
	関係市町及び地元の意向	<p>「ときわ公園活性化基本計画」の来園者の意向調査では、市民が安心して利用できるよう周遊園路を整備するとともに利用者のための休憩場所やビューポイント案内などが求められている。また、季節の花や自然観察を目的に来園される市民が多く、四季を通じて花木を楽しむことができる魅力ある花壇づくりや周遊園路沿いの花木の充実が求められている。「ときわ公園 緑と花の計画」^{*3}の市民ワークショップでは、「ピオトープ池と駐車場の整備は両方必要」という意見が多く出ている。</p>			中項目評価	<p>Ⓐ</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p>

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：R2)</th> <th colspan="2">今回(再評価) (再々評価) (基準年：R4)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①直接利用価値便益</td> <td>124,744</td> <td>167,464</td> <td>2,386</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②間接利用価値便益</td> <td>69,639</td> <td>86,383</td> <td>561</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③料金収入便益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> <td>-70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>194,383</td> <td>253,846</td> <td>2,878</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>40,427</td> <td>49,587</td> <td>887</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>38,029</td> <td>47,382</td> <td>254</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>78,456</td> <td>96,969</td> <td>1,141</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>2.5</td> <td>2.6</td> <td>2.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「改訂第4版 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」(平成29年4月：国土交通省都市・地域整備局)により算出している。 <p>直接利用価値：利用者が、公園を利用するために支払う移動費用と利用料金により算定される価値</p> <p>間接利用価値：緑地と広場が存在することで、環境・防災面に役立つ価値</p> <p>緑地面積の考え方 「公園整備完了後の緑地面積」から「公園整備着手前より公園整備区域内に存在する宇部市が保有する樹林地(保安林)等の面積」を控除した面積を採用する。</p>	区分	主な項目	前回 (基準年：R2)	今回(再評価) (再々評価) (基準年：R4)		備考	全体事業	全体事業	残事業	便益 (B)	①直接利用価値便益	124,744	167,464	2,386		②間接利用価値便益	69,639	86,383	561		③料金収入便益					④その他の便益			-70		総便益	194,383	253,846	2,878		費用 (C)	①事業費	40,427	49,587	887		②維持管理費	38,029	47,382	254		③その他					総費用	78,456	96,969	1,141		費用便益比 (B/C)		2.5	2.6	2.5		大項目 評価 A ・ B ・ C
	区分	主な項目	前回 (基準年：R2)			今回(再評価) (再々評価) (基準年：R4)		備考																																																										
			全体事業	全体事業	残事業																																																													
	便益 (B)	①直接利用価値便益	124,744	167,464	2,386																																																													
②間接利用価値便益		69,639	86,383	561																																																														
③料金収入便益																																																																		
④その他の便益				-70																																																														
総便益		194,383	253,846	2,878																																																														
費用 (C)	①事業費	40,427	49,587	887																																																														
	②維持管理費	38,029	47,382	254																																																														
	③その他																																																																	
	総費用	78,456	96,969	1,141																																																														
費用便益比 (B/C)		2.5	2.6	2.5																																																														
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>事業全体の進捗状況：94% うち用地補償 93% (未買収地約2.3ha) うち工事 97% (残事業：ピオトープ池、森の中の彫刻展示場、園路等)</p> <p>今後の公園整備については、スポーツ広場、周遊園路等、順次整備を進め、ピオトープ池の整備や森の中の彫刻展示場、四季折々の花が楽しめる花壇等の整備を行うとともに、防災公園としての機能強化に努め、更なる公園機能の充実を図る。</p>	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																															
	<p>【事業費の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>令和4年3月に「ときわ公園活性化基本計画」を改定し、新たに事業として、歩道が整備されていない北側園路の歩道及び照明施設の整備やスポーツ広場駐車場の拡張、多目的施設を追加している。</p> <p>【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>新たな整備等に伴い、事業期間の延伸を行う。</p>																																																																	
(4) コスト縮減 代替案等の可能性	コスト縮減	他事業の建設発生土を本工事への流用することによる建設費の縮減を図る。また、公園内の行事として人生記念植樹 ^{※4} を行い、これまでに桜、カエデ、ツバキなど約1,500本を市民からいただいた寄付で苗を購入し、市民の手によって植えており、苗代・植栽費等のコストの縮減を図っている。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">中項目評価</td> <td style="width: 50%;">大項目評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a b</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">A ・ B ・ C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中項目評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a b</td> <td></td> </tr> </table>	中項目評価	大項目評価	a b	A ・ B ・ C	中項目評価	a b																																																									
	中項目評価	大項目評価																																																																
a b	A ・ B ・ C																																																																	
中項目評価																																																																		
a b																																																																		
代替案	北側園路の歩道整備や照明施設整備は、来園者が安全・安心に利用できる公園となり、また、歩道が繋がることにより、防災時の避難経路としての防災機能の充実を図ることができる。 また、駐車場を拡張することによって、園路に駐車する車両を防ぐことができ接触事故等を防止できる。 以上のことから、代替案の検討の余地はない。																																																																	
3 環境	配慮事項	宇部市環境基本計画 ^{※5} (R4.3) の中で、「良好な生活環境を守り安心して生活できるまち」を基本目標として、市民の憩いの場となる緑豊かな公園整備を行うとされている。 ・湿地の保全、下草を残すなど、鳥類等の保全に努めている。 ・維持管理については、園内で発生した刈草を堆肥化し、活用することとしている。																																																																

4 対応方針 (事業実施主体案)	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止
	評価理由	<p>常盤公園は宇部市の市街地の東部に位置しており、市民の憩いの場として親しまれ、また、本市の貴重な観光資源として県内外から多くの観光客が訪れている。「緑と花と彫刻のまち」のシンボルとして広大な自然を残している総合公園であり、「共創」による公園づくりを通して、市民に愛され、誇りを持てる都市公園になることを目指して、多様な資源や人が連携しながら、新たな魅力を創りだし、人が集い、安全・安心に利用できる公園とするため、スポーツ広場、緑と花と彫刻の博物館、周遊園路、ピオトープ池、四季折々の花が楽しめる花壇等の整備を順次行う必要がある。また、防災公園としての機能強化に努めた更なる公園機能の充実を図る必要がある。</p> <p>以上のことから、事業を継続し、整備を進めていく必要がある。</p>
	備考	

【用語説明】

- ※1 ピオトープ池：生物が自然な状態で生息している空間に整備した池
- ※2 ときわ公園活性化基本計画：常盤公園を利用者にとって魅力ある公園として継承し、新たな魅力を創りだし、賑わいの創出を図る指針
- ※3 ときわ公園緑と花の計画：市民とともに、ときわ公園の豊かな自然環境を保全・再生しながら、新たな緑と花の創出を計画的に進めるための指針
- ※4 人生記念植樹：誕生、入学、卒業、結婚、退職、還暦など、それぞれの思い出の記念日を迎える方を対象に記念植樹を実施している
- ※5 宇部市環境基本計画：2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、宇部市の環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針

常盤公園 都市公園事業

